

第14回かたりばカフェのご案内

前回は島根大学の前田しほ先生から16世紀から19世紀までのウクライナを中心とした周辺国の歴史を学びました。武力と武力がぶつかり合い、めまぐるしく国の様子が変わるなかで、少しずつウクライナという国のアイデンティティーが形成されていく様子を知ることができました。

いよいよ今回は、苦難に満ちたウクライナの怒濤のような20世紀の歴史を学びます。その学びが今回の軍事侵攻だけでなく、様々な問題や私たち生き方にも関連付けられて深まっていくことを願っています。

前田先生との学習会は今回が最後です。みなさんの参加をお待ちしています。学びの輪を広げましょう。

☆日 時 **3月25日(土) 9:00~12:00**

☆参加方法 **会場参加(サンラポーむらくも) or オンライン参加**

☆参加費 **無料。未組の方の参加も大歓迎です。**

☆その他 **マスクの着用をお願いします。手指消毒、検温にご協力ください。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、延期または中止する場合があります。**

☆問合せ先 **島根県教職員組合 TEL (0852)21-2767**

担当 // **専門委員 元田一雄**

3/25(土)「かたりばカフェ」参加申込書

() 学校 氏名 ()

☆参加方法 **会場参加 () オンライン参加 () ↓**
(どちらかに○を) [メールアドレス:]

☆前回の学習会の感想より☆

16世紀から19世紀までのこの地域の歴史を学びました。波瀾万丈の人生という言い方がありますが、波瀾万丈の歴史と言うべきでしょうか。多くの民族に囲まれ、多くの国と国境線で接し、粘り強く歴史を歩んできたことはとても大変だったのだろうと想像します。ウクライナのことを思えば、日本はなんと穏やかな歴史を歩んできたことか。日本人としてこの問題が理解しがたいのも、ここらあたりにあるのかと考えました。

今日の話はコサックの台頭から19世紀の頃までめまぐるしく権力争いが起きて、ややこしい時代。共に戦っていたと思っていた相手が敵と手を結んだり。『物語ウクライナの歴史』を読んだだけではなかなか頭に入ってこなかったところが、前田先生のお話を聴くとスルスルと入ってきました。とても魅力的なお話でした。テンポが良くて、違う国の話や現代の話も全部がつながっていて、最後まで勉強になることばかりでした。

今回は「コサックダンス」で有名なコサックと言われる人々(集団)との関わりが聞けて、とても刺激的でした。後半の感想交流を通じて、ロシアとウクライナの関係が、「竹島」を介した日本と韓国との関係、「北方領土」を介したロシアと日本との関係とリンクする見方もでき、深い学びになりました。

ロシア、ウクライナ問題の学習会に初めて参加できて、とても良かったです。ロシア、ウクライナの歴史を勉強して知ることが大切だと思っていたから、知ることができて良かったです。民族・国家の歴史が大きく関わっていること、今の戦争の終結について、日本の置かれている現状・・・様々なことが波及していると再認識しました。

残念ながら、今すぐの解決を望むことはできなさそうだと思う一方、みんなが少しずつでがまんし、みんなが少しでも幸せになれる方法を探しだすという努力を、あきらめずに追求しつづけることに力を注ぎたい(あきらめるのではなく)と思う今日この頃です。七転び八起き、滅亡する道ではなく、進化していく道を命つきるまで追求していきたい。そういう生き方をしていきたいと思っています。